

十河信二記念館 四国鉄道文化館 開館5周年記念事業シンポジウム

実施報告書



平成24年11月28日 開催
於：西条市総合文化会館・他

目次

シンポジウム実施概要2p
シンポジウム会場全体図(西条市総合文化会館)3p
シンポジウム「基調講演」について4p
シンポジウム「パネルディスカッション」について5p
企画展示(エントランス ①四国高速鉄道関連)6p
企画展示(エントランス ②観光関連)7p
企画展示(エントランス ③鉄道を支えるものづくり)8p
企画展示(エントランス ④JR関連展示⑤DVD・中継観覧コーナー)9p
企画展示(展示室 ⑥十河信二展)10p
懐かしの食堂車ビーフカレー(喫茶室)11p
十河信二記念館 企画展示「情熱の人・十河信二」(11月1日～)12p
西条図書館 企画展示 (11月1日～11月29日)13p
メディア・報道関係(予告・通知) ～ポスター・整理券～14p
メディア・報道関係(予告・通知) ～ チラシ ～15p
メディア・報道関係(事後掲載) ～各新聞社等～16p～19p
メディア・報道関係(市広報)20p
シンポジウム参加者アンケート結果21p～23p

シンポジウム実施概要

【概要】

日時:平成24年11月28日(水) 13:30~16:00

場所:西条市総合文化会館 小ホール

シンポジウム出演者

【基調講演】 東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田寛氏

【パネルディスカッション】

東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田寛氏

四国旅客鉄道株式会社 相談役 梅原利之氏

東京大学 名誉教授 原 朗氏

愛媛大学 法文学部 3回生 向井貴洋さん 西条高校 理数科 1年生 和田迪子さん

愛媛大学 法文学部 3回生 谷 麻美さん 西条高校 理数科 2年生 平木 雅さん

来賓者 29名(詳細は別紙)

一般来場者 約 270名

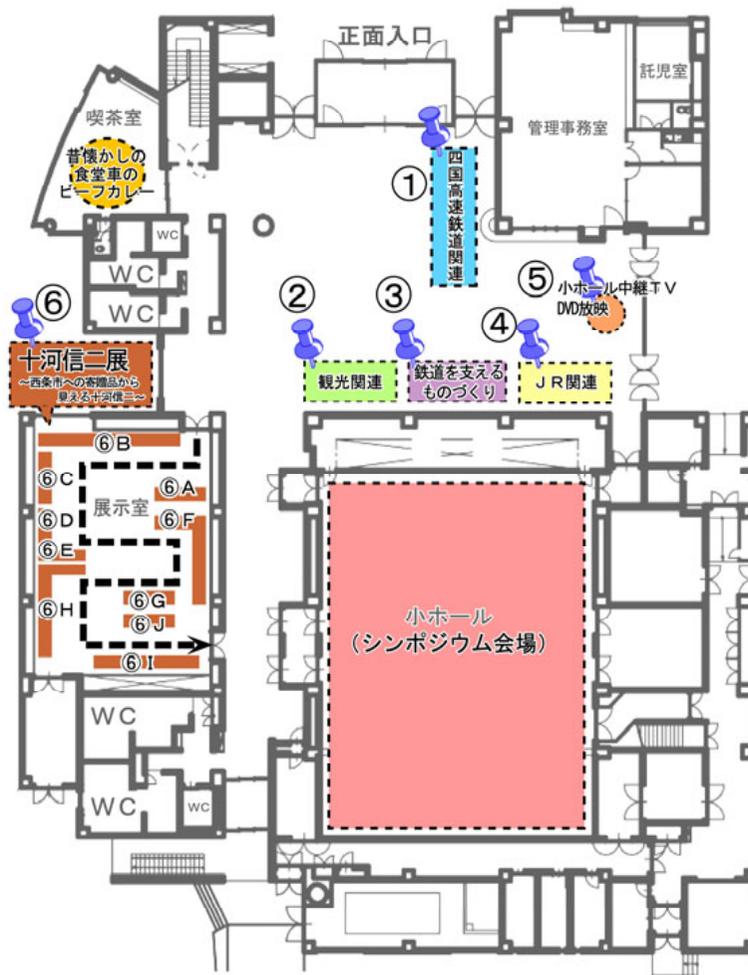
主催 西条市

後援 西条市教育委員会／愛媛県／四国経済連合会／株式会社交通新聞社／愛媛新聞／朝日新聞松山
総局／毎日新聞松山支局／読売新聞松山支局／産経新聞松山支局／日本経済新聞松山支局／
NHK松山放送局／南海放送／テレビ愛媛／あいテレビ／愛媛朝日テレビ／東日本旅客鉄道株式会社
／東海旅客鉄道株式会社(シンポジウム協賛)／西日本旅客鉄道株式会社／四国鉄道株式会社／
九州鉄道記念館／FM愛媛／ハートネットワーク／西条市観光協会／西条市文化協会／西条商工会
議所／周桑商工会／愛媛県フリーゲージトレイン導入促進期成同盟会／道前会／伊予銀行／愛媛銀
行／愛媛信用金庫／東予信用金庫／西条市連合自治会／西条市連合婦人会／十河信二を知る会
(35カ所)

シンポジウム会場全体図 (西条市総合文化会館)

十河信二記念館・四国鉄道文化館5周年記念

会場案内図



展示物の紹介

①四国高速鉄道関連

- ・フリーゲージトレイン模型

②観光関連

- ・西条市の観光情報、パンフレット

③鉄道を支えるものづくり

- ・新幹線の製造工程
- ・市内企業の作っている鉄道関連製品の紹介
- ・JR四国多度津工場の車両整備の様子
- ・双頭レール、鑄鉄製ミニチュア機関車

④JR関連

- ・1964年、東海道新幹線が開業した当時の時刻表(8月・9月・11月)
- ・リニア・鉄道館関連
- ・東京駅関連
- ・九州鉄道記念館関連
- ・イギリス国立鉄道博物館関連

⑤小ホール中継TV・DVD放映

- ・小ホール中継
※13:30~16:00
- ・DVD「東京駅丸の内駅舎 保存・復原」
※13:30~16:00を除く

⑥十河信三展 ~西条市への寄贈品から見る十河信三~

- A…年表
- B…郷土と十河信三
- C…十河信三と後藤新平
- D…中国大陸時代
- E…十河信三コレクション
- F…国鉄総裁時代
- G…西条市の誇る偉人 佐伯勇
- H…十河信三作品
- I…十河信三先生顕彰事業とは
- J…十河信三コレクション

シンポジウム「基調講演」について



東海旅客鉄道株式会社
相談役 須田寛氏

講演概要

【四国の鉄道高速化の経緯について】

【観光における鉄道の役割について】

【①観光へのアクセス手段】

【②観光に変化を与え、付加価値を増加】

【③鉄道そのものが観光資源に】

【観光の本来の意味について】

【これからの観光について ～国際観光と広域観光～ 】

【観光する“心”について】

シンポジウム「パネルディスカッション」について



コーディネーター
東京大学 名誉教授 原朗氏



パネリスト
JR東海 相談役 須田寛氏 JR四国 相談役 梅原利之氏

西条高校生 和田迪子さん
十河氏は座右の銘「有法子」の精神で、難行といわれた東海道新幹線の開通を実現した。その生きる姿勢を見習い、夢に向かって頑張りたい。

西条高校生 平木 雅さん
西条市内の点在している観光地を駅からうまく繋ぎ合せ、またもっと目立つように観光案内することで、集客が望めると思う。

愛媛大学生 向井貴洋さん
四国の高速鉄道や新幹線の導入で、移動時間が短縮され、若い人が四国へUターン就職で戻ってくることで、四国が活性化されると思う。

愛媛大学生 谷麻美さん
西条の観光資源は、「体験型」の施設を充実させることで、もっと楽しむことができるようになると思う。

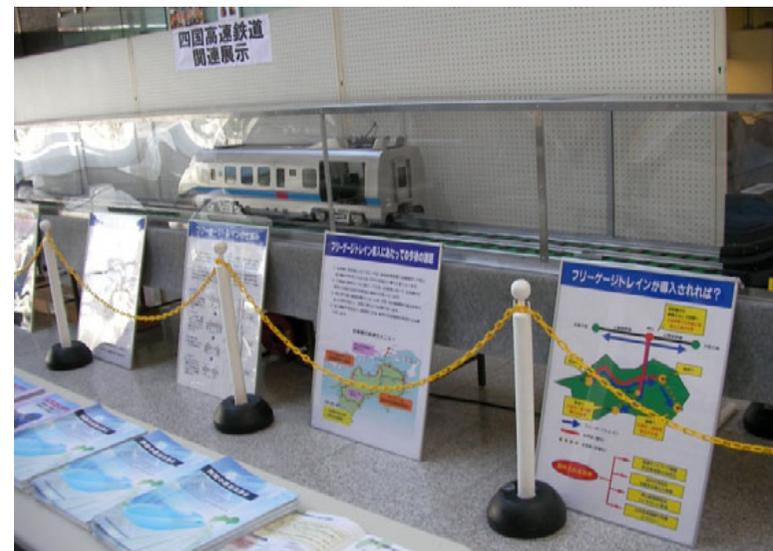
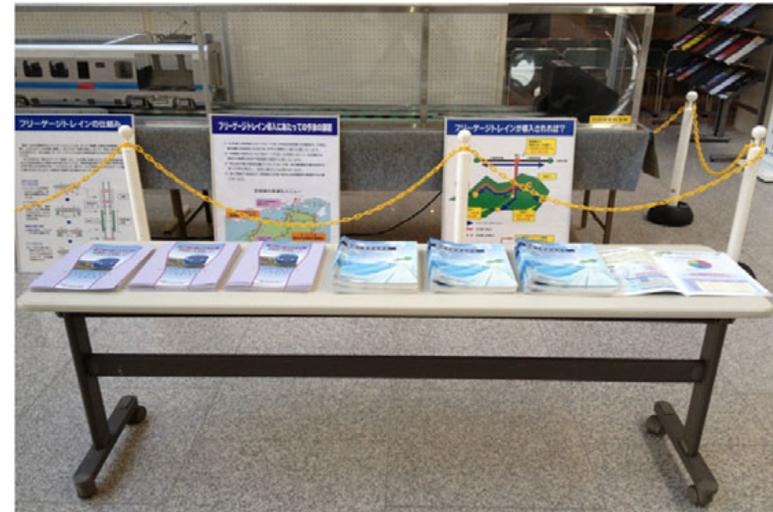
四国旅客鉄道株式会社 相談役 梅原利之氏
現在日本の新幹線は、四国を除いて開業が予定されており、十河氏が生まれた四国のみが開通していない。
本州から人を呼び込み、四国全体を活性化するためにも、四国にフル規格の新幹線を呼び込みたい。

東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田寛氏
観光には地域の光となるブランド化の推進と情報発信力が必要となる。さらに、それを進めるためには、関係する町同士の連携や資源同志の連携も重要である。



パネリスト
(左1人目)愛媛大学生 向井貴洋さん (左2人目)同大学生 谷麻美さん
(右1人目)西条高校生 平木 雅さん (右2人目)同高校生 和田迪子さん

企画展示（エントランス①四国高速鉄道関連）



企画展示 (エントランス ②観光関連)



企画展示 (エントランス ③鉄道を支えるものづくり)



企画展示（エントランス ④JR関連展示 ⑤DVD・中継観覧コーナー）



企画展示（展示室 ⑥十河信二展）



懐かしの食堂車のビーフカレー（喫茶室）



十河信二記念館 企画展示「情熱の人・十河信二」(11月1日～)



∞ 【場 所】十河信二記念館 2階

∞ 【展示内容】・掛け軸「雷水」

- ・書 簡 吉田茂氏からの書簡
- ・俳 句 「春雷子」
- ・愛用品 彫刻硯
- ・花 瓶 「六代清水六兵衛」
- ・鶴首花瓶「味楽」
- ・和服 帯 他



西条図書館 企画展示 (11月1日～11月29日)

案内チラシ(A4)



西条図書館企画展示

**寄贈史料から見た十河信二
～その功績と内なる思い～**

西条図書館では平成 24 年度から 3 カ年計画でご遺族より寄贈された史料のデジタル化を実施しております。今回は平成 24 年度デジタル化業務の終了を受け、調査結果と調査から見てきた十河信二氏の歩んだ道のりとその思いを自筆史料で紹介いたします。

展示概要

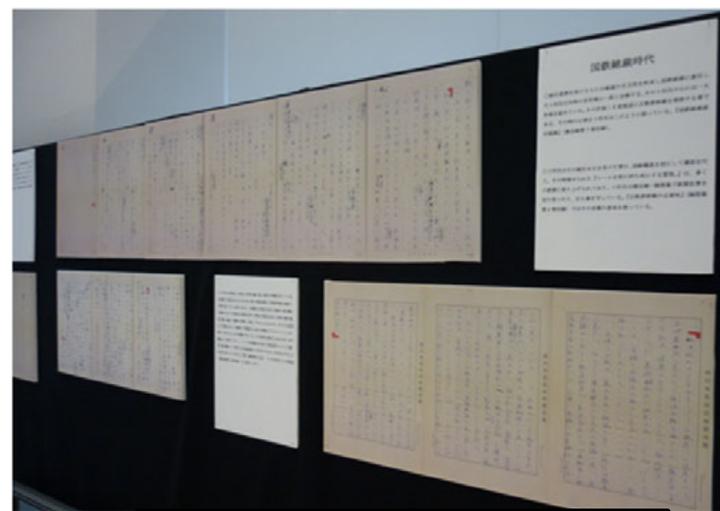
- 平成 24 年度十河信二先生寄贈史料
デジタル化調査結果
- 十河信二先生の生涯
(備忘録・随想集デジタル史料展示)
 - ・幼少期
 - ・西条中学時代
 - ・四国人として
 - ・第一高等学校～東京帝国大学時代
- ・第1期国鉄時代
- ・アメリカ留学・復興院・漢鉄理事・興中公司時代
- ・西条市長時代
- ・国鉄総裁就任のいきさつ
- ・国鉄総裁時代
- ・家族への思い

(※その他寄贈史料を展示)

開催概要

展示期間 平成 24 年 11 月 1 日(木) ～ 11 月 29 日(木)
時 間 9:00 ～ 19:00
場 所 西条図書館 1 階アクアフォーラム

展示の様子



十河氏直筆の備忘録

メディア・報道関係（予告・通知）

ポスター（B1 サイズ）

**十河信二記念館・四国鉄道文化館
開館5周年記念**

シンポジウムテーマ
「四国の発展と鉄道高速化」

新幹線試運転 関係職員と記念撮影

シンポジウム
日時 平成24年11月28日(水) 13:30~16:00
会場 西条市総合文化会館小ホール

○基調講演 「四国の鉄道と観光について」
須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役

○パネルディスカッション
須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役
梅原 利之氏 四国旅客鉄道株式会社 相談役
原 朗氏 東京大学 名誉教授
愛媛大学生 西条高校生

※ 整理券が必要です
整理券は、西条市観光交流センター、市内各図書館、市内各公民館にあります

企画展示
○西条市総合文化会館展示室（11月28日11:00~18:00）
十河信二先生関連遺品（文書・美術品等） / 四国高速鉄道関連等
観光（産業観光等）関連展示 / 鉄道を支えるものづくり展示
○十河信二記念館、西条図書館（11月1日~）

お問い合わせ 西条市観光課 0897-47-3575

整理券（65mm×142mm）

**十河信二記念館・四国鉄道文化館
開館5周年記念**

シンポジウムテーマ
「四国の発展と鉄道高速化」

整理券

No. _____

日時 平成24年11月28日(水)
13:30~16:00
会場 西条市総合文化会館小ホール

○基調講演
「四国の鉄道と観光について」
須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役

○パネルディスカッション
須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役
梅原 利之氏 四国旅客鉄道株式会社 相談役
原 朗氏 東京大学 名誉教授
愛媛大学生 西条高校生

先着50食 喫茶ホッとタイム（11:00~13:00）
昔懐かしの食堂車のビーフカレー 700円
↑ 鉄道博物館（さいたま市）の協力を得て実現!!

西条市総合文化会館
〒793-0041
愛媛県西条市神保町79番地4
TEL (0897) 53-5500

【お問い合わせ】
西条市観光課
0897-47-3575

メディア・報道関係（予告・通知）

チラシ(A4サイズ 表)

十河信二記念館・四国鉄道文化館
開館5周年記念

シンポジウムテーマ
「四国の発展と鉄道高速化」



新幹線試運転、国鉄職員と記念撮影

シンポジウム

日時 平成24年11月28日(水) 13:30~16:00
会場 西条市総合文化会館小ホール

新幹線の生みの親
第4代国鉄総裁
十河 信二 先生

明治17年、現在の愛媛県新居浜市中
萩町生まれ。旧西条中学校出身。第
2代西条市長を務めた後、国鉄総裁
となった十河氏は、熱い情熱と卓越
した才能で「夢の路線」東海道新
幹線計画を表現した。「有法子（成
せば成る）」の精神を持ち、明治から
昭和にかけて、激動の時代を生きて
いた郷土の偉人。世界に誇る日本の
新幹線は、十河氏を始めとする先人
達により、国民の利益と繁栄を願っ
て作られた。

〇基調講演「四国の鉄道と観光について」
須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役

〇パネルディスカッション
須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社 相談役
梅原 利之氏 四国旅客鉄道株式会社 相談役
原 朗氏 東京大学 名誉教授
愛媛大学生 西条 高校生

入場無料 ※整理券が必要です
整理券は、西条市観光交流センター、市内各図書館、市内各公民館にあります

企画展示

〇西条市総合文化会館展示室（11月28日11:00~18:00）
十河信二先生関連作品（文書・美術品等）/ 四国高速鉄道関連等
観光（産業観光等）関連展示 / 鉄道を支えるものづくり展示

〇十河信二記念館、西条図書館（11月1日~）

お問い合わせ 西条市観光振興課 0897-47-3575

〇主催 西条市
〇後援 西条市教育委員会/愛媛県/四国経済連合会/株式会社交通新聞社/愛媛新聞社/朝日新聞社松山総局/毎日新聞社松山支局/読売新聞松山支局/産経新聞松山支局/日本経済新聞松山支局/NHK松山放送局/南海放送/テレビ愛媛/あいテレビ/愛媛朝日テレビ/東日本旅客鉄道株式会社/東海旅客鉄道株式会社(シンポジウム協賛)/西日本旅客鉄道株式会社/四国旅客鉄道株式会社/九州鉄道記念館/伊予鉄道/ハートネットワーク/西条市観光協会/西条市文化協会/西条商工会議所/周島商工会/愛媛県フリーゲートブリッジ導入促進期成同盟会/道前会/伊予銀行/愛媛銀行/愛媛信用金庫/東予信用金庫/西条市連合自治会/西条市連合婦人会/

（裏）

開催にあたり

「新幹線の生みの親」である十河信二先生の功績をたたえとともに、十河信二記念館及び四国鉄道文化館両館が開館5周年の節目を迎えるにあたり、記念事業としてシンポジウムと企画展示を行います。

講演者・パネリストの紹介

東海旅客鉄道株式会社相談役
須田 寛(すだ ひろし) 氏



昭和6年生まれ 京都府出身 京都大学法学部卒業
(職歴) 昭和59年 日本国有鉄道 理事(常務理事) / 昭和62年 東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
平成7年 東海旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 / 平成16年 東海旅客鉄道株式会社 相談役(現職)
(公職) (社)日本観光振興協会 中部支部長 / (社)日本観光振興協会 全国産業観光推進協議会 副会長
名古屋商工会議所 文化・観光委員長 他
(主な著書) 産業観光読本(交通新聞社) 新・観光資源論(交通新聞社) / 観光の新分野 産業観光(交通新聞社)
新しい観光(交通新聞社) / 新産業観光(交通新聞社) 観光-新しい地域(くに)づくり(学芸出版社)
東海道新幹線Ⅱ改訂新版(JTBパブリッシング) 昭和の鉄道(交通新聞社)

四国旅客鉄道株式会社相談役・四国鉄道文化館名誉館長
梅原 利之(うめはら としゆき) 氏



昭和14年生まれ 京都府出身 京都大学工学部卒業
(職歴) 昭和62年 西日本旅客鉄道株式会社 取締役(金沢支社長) / 平成元年 西日本旅客鉄道株式会社 常務取締役(事業本部長) / 平成5年 西日本旅客鉄道株式会社 常務取締役(鉄道本部長) / 平成10年 四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 / 平成16年 四国旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 / 平成20年 四国旅客鉄道株式会社 相談役(現職)
(業界団体役員) 平成14年 日本観光協会 四国支部長 / 平成23年 日本観光振興協会 四国支部長 / 平成15年 香川県観光協会 会長

東京大学名誉教授
原 朗(はら あきら) 氏



昭和14年生まれ 東京都出身 東京大学経済学部卒業
(職歴) 昭和59年 東京大学経済学部 教授 / 平成11年 東京国際大学教授 / 同年 東京大学名誉教授
平成21年 首都大学東京客員教授 / この間、土地制度史学会理事代表・日本学術会議会員
(公職) 東京大学名誉教授 / 首都大学客員教授 / 政治経済学・経済史学会顧問 / 現代日本経済史研究会代表 / 十河信二文庫研究会代表
(主な著書) 日本の戦時経済(編著、東京大学出版会) / 復興期の日本経済(編著、東京大学出版会) / 高度成長地動期の日本経済(編著、日本経済評論社) / 高度成長展開期の日本経済(編著、日本経済評論社)

会場へのアクセス



【西条市総合文化会館】
〒793-0041 愛媛県西条市持拜甲79番地4
TEL(0897)53-5500

【電車でお越しの場合】
JR伊予西条駅より徒歩6分

【車でお越しの場合】
松山自動車道いよ西条ICより約10分

メディア・報道関係 (事後掲載)

「十河信二記念館が5周年」 2012年11月30日付 交通新聞

十河信二記念館が5周年



四国の発展と鉄道高速化について議論を交わしたパネルディスカッション

地元・西条市がシンポ

鉄道高速化で議論

愛媛県西条市は28日、JR予讃線伊予西条駅に隣接する十河信二記念館、四国鉄道文化館の開館5周年を記念し、西条市総合文化会館で鉄道をテーマにしたシンポジウム「JR東海、JR西日本、JR四国、交通新聞社など」を開催した。

十河信二氏は、戦後の実現に注力した。市で同市長などを務めた。その功績を後世に伝えるため、第4代国鉄総裁に就よつと2007年、平成19年、東海道新幹線計画(19年)11月記念館を開設した。

この日は約300人が参加し、十河氏の功績を振り返り、同新幹線で活躍した関係者などから、鉄道高速化の重要性を語り、今後の課題について意見を交わした。

この日は約300人が参加し、十河氏の功績を振り返り、同新幹線で活躍した関係者などから、鉄道高速化の重要性を語り、今後の課題について意見を交わした。

平日にグループ旅行を

JR九州が「女子旅きっぷ」

JR九州は12月7日か、平日に女性グループ旅行を促進する「女子旅きっぷ」を発売する。このきっぷは、一人当たり5,500円(税別)で、福岡市内から平戸まで、大分・湯布田・長崎県佐世保市のハウステンボス向けの格安。当日の乗車券も、2日間有効。11月7日～3月1日の平日、バスまでの特急往復、同乗利用が条件。ハウステンボス向けのきっぷ限定で、3人用1万6,500円、2人用1万1,500円、1人用7,500円。福岡市内から平戸まで、大分・湯布田・長崎県佐世保市のハウステンボス向けの格安。当日の乗車券も、2日間有効。11月7日～3月1日の平日、バスまでの特急往復、同乗利用が条件。ハウステンボス向けのきっぷ限定で、3人用1万6,500円、2人用1万1,500円、1人用7,500円。

「四国に新幹線を」2012年12月8日付 産経新聞

「四国に新幹線を」



四国新幹線の必要性が指摘されたシンポジウム—愛媛県西条市

愛媛・西条でシンポジウム

四国鉄道文化館・十河信二記念館(愛媛県西条市)の開館5周年記念シンポジウム「四国の発展と鉄道高速化」が、西条市神拝の市総合文化会館で開かれ、JR四国の梅原利之相談役が四国新幹線の必要性を指摘した。

シンポジウムでは、JR東海の須田寛相談役が、西条市長を務めた後、第4代国鉄総裁として東海道新幹線を建設した十河信二氏(新居浜市出身)が行った四国の鉄道近代化施策を紹介。「鉄道を含めた各種交通のネットワーク整備と地元」

梅原氏は、戦後の実現に注力した。市で同市長などを務めた。その功績を後世に伝えるため、第4代国鉄総裁に就よつと2007年、平成19年、東海道新幹線計画(19年)11月記念館を開設した。

この日は約300人が参加し、十河氏の功績を振り返り、同新幹線で活躍した関係者などから、鉄道高速化の重要性を語り、今後の課題について意見を交わした。

情報の発信が観光客誘致のカギになる」と基調講演した。

続いて十河氏関連の史料研究をしている原東大名誉教授の司会でパネルディスカッション。パネリストの梅原氏は「本州方面から大勢の観光客を誘致するにはどうしても新幹線が必要だ。瀬戸内地域は新幹線が運用可能な人口分布になっている。四国を繁栄させるため、新幹線を夢で終わらせてはならない」と、各地の新幹線効果を紹介しながら強く指摘した。

メディア・報道関係（事後掲載）

「鉄道生かし地域振興を」 2012年11月30日付 愛媛新聞
 (掲載許可番号:G20130301-01125)

2012年(平成24年)11月30日 金

愛媛新聞

鉄道生かし地域振興を 西条十河信二記念館シンポ



シンポジウムで鉄道を利用した地域振興策を提案する学生たち

十河信二記念館・四国鉄道文化館(西条市大町)の開館5周年記念シンポジウムが28日、同市神拝の市総合文化会館であり、第4代国鉄総裁で元西条市長の十河信二氏(1884~1981年、新居浜市出身)の功績を振り返りながら鉄道を利用した地域振興について考えた。

十河氏は東海道新幹線整備に尽力し新幹線の父と呼ばれる。28日は、JR東海の須田寛相談役、JR四国の梅原利之相談役、十河氏の史料を研究する原明

・東京大名誉教授の3氏が招かれた。須田相談役は基調講演で、十河氏が四国の鉄道近代化に果たした役割を指摘。高松・松山間のJR予讃線特急は、平均時速84キロ。在来線最高レベルの高速化を達成しているとし、「鉄道と他の交通機関とつまく組み合わせた輸送システムをつくり、地域の情報をうまく発信すれば観光客誘致につながる可能性がある」と話した。

パネルディスカッションでは3氏に加え愛媛大、西条高の学生4

JR四国相談役「四国に新幹線を」 2012年11月29日付 朝日新聞

◆JR四国相談役「四国に新幹線を」 西条市の十河信二記念館・四国鉄道文化館の開館5周年記念シンポジウム(同市主催、朝日新聞松山総局など後援)が28日、市総合文化会館であった。梅原利之・JR四国相談役がパネルディスカッションに参加し、「四国に新幹線を絶対につくりたい」と述べた。

シンポは「四国の発展と鉄道高速化」がテーマ。梅原相談役は、高松市と松山市の間に人口10万人以上の都市が並んでいることを挙げ、「他の地方と比べて新幹線に向いている地域的な特性がある」と指摘。「新幹線が開通した場所は例外なく発展している。観光インフラのためにも、新幹線を夢で終わらせてはいけない」と力説した。

人が登場。「新幹線が鈍山など観光地にアク整備されれば就職活動で便利になり、地域に若い人が根付くきっかけになる」「駅から石

鈍山など観光地にアク整備されれば就職活動を整えてほしい」などと提案した。(今西晋)

メディア・報道関係 (事後掲載)

2012年(平成24年)12月12日 木曜日 交通新聞 第12000号

十河信二記念館 四国鉄道文化館 開館5周年でシンポ

愛媛県西条市は、JR予讃線伊予西条駅に隣接する十河信二記念館、四国鉄道文化館の開館5周年を記念し、「四国の発展と鉄道高速化」をテーマにシンポジウム（JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、交通新聞社など後援）を開いた。この日は、JR東海の須田寛氏相模鉄道が「四国の鉄道と観光」と題して基調講演を行い、パネルディスカッションではJR四国の梅原利之相模鉄道がパネリストから地域活性化の方向や高速鉄道のメリットなどについてさまざまな意見、提言が出された。

（小原 博記者）

■ 愛媛県西条市



四国の発展や鉄道高速化などについてさまざまな意見が出されたパネルディスカッション

四国の発展と鉄道高速化

基調講演

須田 寛氏 相模鉄道「四国の鉄道と観光」

相模鉄道は、観光と鉄道の関係について、観光客の利便性を高める観点から、観光ネットワークの構築を提言した。また、四国各地の観光資源を鉄道で結び、観光客の誘客に貢献する役割を果たすことが重要であると述べた。

観光ネットワークの構築を

「交通」は観光地 結ぶ重要な役割

的確な情報発信で誘客

東海道新幹線実現に尽力

十河氏の功績 後世に

十河信二氏は、東海道新幹線の実現に尽力した。その功績を後世に伝えることが重要であると述べた。

パネルディスカッション

新幹線呼び込み地域活性化

梅原利之氏 相模鉄道

相模鉄道は、新幹線が地域活性化に貢献することを期待している。特に、観光客の誘客や地域の経済発展に大きく貢献するものと見込んでいる。

時間短縮で可能性広がる

「体験型」施設の充実を

十河信二記念館 四国鉄道文化館

十河信二記念館と四国鉄道文化館は、鉄道文化の普及と観光客の誘客に貢献している。特に、体験型施設の充実が重要であると述べた。

「四国の発展と鉄道高速化」
2012年12月12日付 交通新聞

メディア・報道関係（事後掲載）

「四国を反映させるための新幹線はぜひとも必要」
2013年1月15日付 四国中央レポート

四国中央レポート

《第22巻第1号》（通巻505号）

平成25年1月15日



青野市長は「新市長として初の仕事です。前伊藤市長さんの功績に敬意を表したい」と挨拶。

引き続きのパネルディスカッションでJR四国の梅原利之相談

「鉄道と他の交通機関とうまく組み合わせた輸送システムをつくり地域の情報をうまく発信すれば観光誘致につなげることができるはずだ」と基調講演。

西条市の十河信二記念館と四国鉄道文化館が開館5周年を迎えたことから「開館5周年記念シンポジウム・企画展示会」が11月28日総合文化会館小ホールで開催され主催者の青野市長は「初当選以来市長として初の仕事です。前伊藤市長の功績は大で、この遺産を守っていききたい」と力強く挨拶。

続いてJR東海の須田寛相談役

は十河第4代総裁が四国の鉄道の近代化に果たした役割や自らが勤務していた四国時代を振り返り

「鉄道と他の交通機関とうまく組み合わせた輸送システムをつくり地域の情報をうまく発信すれば観光誘致につなげることができるはずだ」と基調講演。

条
十河信二記念館・四国鉄道文化館開館5周年記念
シンポジウム・企画展示会を総合文化会館で開催
西
「四国を繁栄させるための新幹線はぜひとも必要」
：

役は「本州方面から大勢の観光客を誘致するには、ぜひとも新幹線が必要。瀬戸内は新幹線が可能な人口分布になっている。四国を繁栄させるためにも新幹線を夢で終わらせてはならない」と力説し万雷の拍手が…。



西条高校生の和田迪子さんを交えてのシンポジウムも開催された。



須田相談役（JR東海）が「四国の鉄道と観光について」と題し基調講演した…。

メディア・報道関係 (市広報)

広報さいじょう 11月号(事前告知)

十河信二記念館・四国鉄道文化館開館5周年記念 シンポジウム・企画展示

- 日時 11月28日(水) 13時30分～16時
- 場所 総合文化会館小ホール
- シンポジウム テーマ「四国の発展と鉄道高速化」
 - 基調講演「四国の鉄道と観光について」
講演者 須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社相談役
 - パネルディスカッション
出演者
○須田 寛氏 東海旅客鉄道株式会社相談役
○梅原利之氏 四国旅客鉄道株式会社相談役
○原 朗氏 東京大学名誉教授
○愛媛大学生 ○西条高校生
- 入場無料 (整理券必要)
整理券は、観光交流センター、市内各図書館、市内公民館にあります。

- 企画展示
 - 展示場所・期間
○総合文化会館展示室 11月28日
○十河信二記念館・西条図書館 11月1日～
 - 展示内容
○十河信二先生関連遺品
○四国高速鉄道・観光関連等展示
○鉄道を支えるものづくり展示



新幹線の生みの親 第4代国鉄総裁
十河信二先生 (1884～1981)
旧制西条中学校出身。第2代西条市長
を務めたあと国鉄総裁に就任し、熱い
情熱と卓越した手腕で“夢の超特急”
東海道新幹線計画を実現した。

■問合せ 観光交流センター内 観光振興課 観光振興係 TEL0897-47-3575

広報さいじょう 2012 11月号 12

広報さいじょう 1月号(事後報告)

開催報告 十河信二記念館・四国鉄道文化館 開館5周年記念シンポジウム 「鉄道高速化」で四国の発展を!

■基調講演
東海旅客鉄道株式会社の須田 寛相談役が「四国の鉄道と観光について」と題し、十河先生が四国の鉄道近代化に果たした役割や、在来線の中で最高レベルの高速化を達成している四国鉄道の観光への活用について講演を行いました。



▲在りし日の十河信二先生

西条市の第2代市長を務めた後、第4代国鉄総裁に就任し「新幹線の生みの親」と呼ばれるなど、鉄道事業の発展に寄与された十河信二先生。そのご功績を今に伝える十河信二記念館と、0系新幹線などを展示する四国鉄道文化館の開館5周年を記念し、このほど開催したシンポジウムには約三百人が来場しました。

■企画展示
鉄道関係のポスターやレールの部品、十河信二先生に関する写真や書画等の展示も併せて行われ、貴重な資料に注目が集まっていました。

■パネルディスカッション
東京大学の原朗名誉教授による司会で、須田相談役のほか、四国旅客鉄道株式会社の梅原利之相談役、愛媛大学西条高校生の4名がパネリストとして加わり、四国への整備新幹線導入への思いや観光の連携などについて意見が交わされました。



▲ユーモアを交えながら講演されるJR東海の須田相談役



▲全国の鉄道ファンに愛され、四国鉄道文化館は開館5周年を迎えました。



▲十河先生にゆかりのある貴重な資料が展示された展示室内



▲地元の学生も参加して総合文化会館で行われたパネルディスカッション

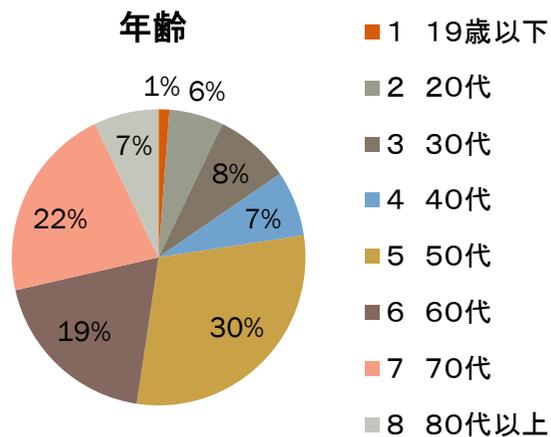
シンポジウム参加者アンケート結果

アンケート調査

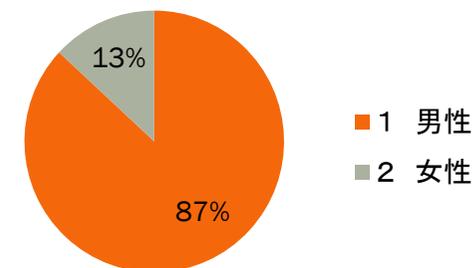
シンポジウム参加者全員配布
約270名

回収率 31.1% (84名回答あり)

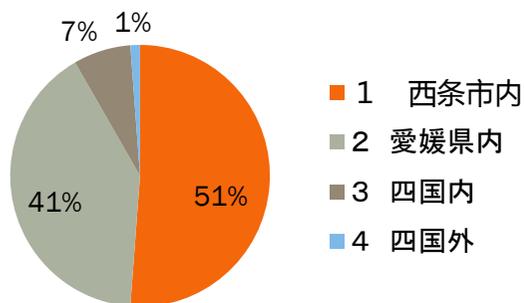
年齢



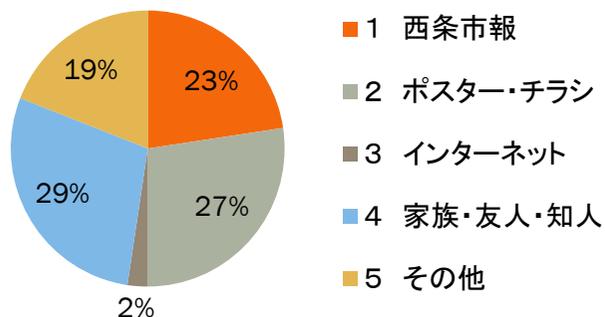
性別



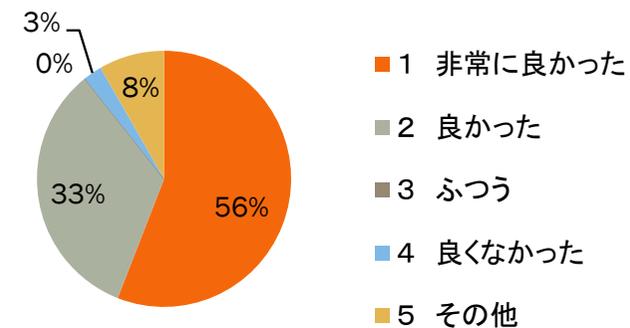
住まい



情報入手方法

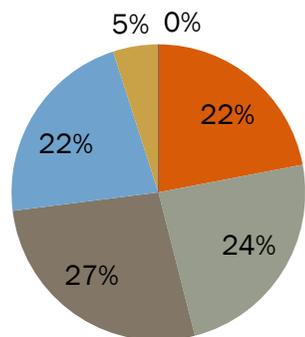


シンポジウムの感想



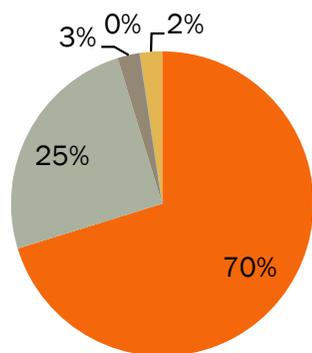
シンポジウム参加者アンケート結果

参加理由



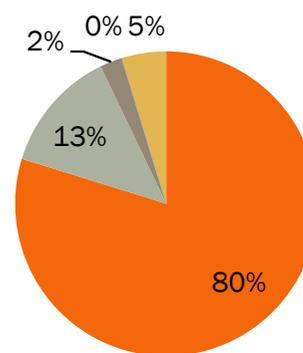
- 1 講師・パネリストに関心があったから
- 2 テーマに関心があったから
- 3 十河信二先生の顕彰事業だから
- 4 鉄道関係に関心があるから
- 5 友人知人に誘われたから
- 6 その他

鉄道高速化の必要性(観光面)



- 1 必要
- 2 どちらかという必要
- 3 どちらかという必要ない
- 4 必要ない
- 5 その他

鉄道高速化の必要性(都市間)



- 1 必要
- 2 どちらかという必要
- 3 どちらかという必要ない
- 4 必要ない
- 5 その他

シンポジウム参加者アンケート結果（自由意見・抜粋）

【四国の鉄道高速化について】

- ・鉄道のインフラの近代化を鉄道事業者の努力だけに任せるのではなく、自治体もぜひかかわって行くべき。
- ・四国新幹線の早期実現を希望します。
- ・予讃線複線化を望みます。フリーゲージ化も良いですが、現状を維持なら早期複線化でスピードアップを。
- ・現代ではスピードがもてはやされていますが鉄道では四国の地でゆっくり走る地域があっても良いのではないかと。片田舎の良さを全国紙で紹介することができれば最良かと思います。
- ・海を見ながら走る四国の鉄道は本当に素晴らしいです。伊豆のような観光資源となりうると思います。琴平～道後まで県を超えた連携による観光活性化のためにも四国の鉄道高速化を期待しています。

【十河信二記念館及び四国鉄道文化館の今後のイベント等について】

- ・体験乗車ができる設備を整え、数種類の機関車の運転ができれば楽しいと思います。
- ・鉄道にふれあうような楽しいイベントをしてほしいです。
- ・地元での認知度の低さに驚かされます。十河信二グッズ等による認知度向上を期待します
- ・駅南の開発・整備に加えてJR西条駅を巻き込んだ企画・イベントを継続的に行うことが重要だと思います。
- ・こういうシンポジウムやイベントを定期的に行ってほしいです

【その他、意見や感想について】

- ・定期的にフォーラムを開催し近い将来の新幹線誘致につなげればよいと思います
- ・十河さんについて子孫に話してやる事にします。西条が観光の宝庫であることを知りました。
- ・若者の感想もとても良かったのですが、土、日曜など若者や生徒達の学べる日にしたかったです。折角の良い催しですので是非若者達にも聞かせたく思いました。
- ・須田先生のご講演中、観光のネットワークについての提言に同感です。
- ・点で考えることなく面として考え、西条観光における役割、東予観光における役割、県観光における役割を考えた記念館・文化館であってほしいです。

十河信二記念館 四国鉄道文化館
開館5周年記念事業 シンポジウム実施報告書

～平成25年2月発行～

西条市役所 企画情報部 戦略企画課

〒793-8601

愛媛県西条市明屋敷164番地

TEL:0897-56-5151(代)

FAX:0897-52-1200